



1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

「心豊かで たくましい 尾間木っ子の育成」～認め合い・学び合い・共に育つ～

凡事徹底<笑顔 あいさつ・返事 きれいな学校>

「笑顔で下校」の対応 ～人が環境をつくり、環境が人を育てる～

- (1) 全職員一丸となって取り組む学校課題研究の充実と授業力の向上
- (2) 明るく活気があり、安全で安心できる学校環境の充実（安全・いじめの防止・教育相談体制）
- (3) 地域・保護者・近隣学校等との信頼関係を基盤とする学校づくり
- (4) 働き方改革の推進

2 評価結果について

(1) 全職員一丸となって取り組む学校課題研究の充実と授業力の向上

今年度は教員一人ひとりが自ら選択した教科において研究を進め、一人1研究授業の全員実施で指導力を向上させた。また、学校評価（保護者）の結果「学校ではわかりやすい授業を行っている」の「十分できている」と答えた保護者の数が伸びていた。（昨年度比+4P）

また「先生の授業はわかりやすい」の「はい」と答えた児童が96.2%（昨年度比+1.6P）

「よい授業アンケート」（因子④児童活動16.4（昨年度比+0.2）となり、タブレット240台追加配付を生かし、ICT機器を積極的に活用して個別最適化された学びを追求した「楽しくわかりやすい授業の創造」を学校全体で実感することができた。

(2) 明るく活気があり、安全で安心できる学校環境の充実

熱中症予防対策や新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組（HP参照）など、学校設備の充実だけでなく児童への予防的な指導のさらなる徹底を図った。その結果、2学期終了時点で熱中症の発症者や新型コロナウイルス感染症の陽性者を出すことなく、安心安全な学校運営を行うことができた。またいじめの積極的な認知により、早期解決に努めたことに加え、困ったときの相談体制の充実「学校はお子さんが困ったときのための教育相談体制を整えている」「十分」「概ね」合わせて93.1%（昨年度比+1.7P）であり、安心して通わせているといえるが、引き続き丁寧な未届けが必要である。

(3) 地域・保護者・近隣学校等との信頼関係を基盤とする学校づくり

新型コロナウイルス感染症の関係で、保護者や地域住民が学校に出入りすることを制限せざるを得なかったことは非常に残念である。一方で学校評価（保護者）「学校は（中略）PTAや地域自治体等や防犯ボランティアと連携して児童の安全に努めている」では、肯定回答が94.2Pと高い評価であり、保護者・地域の協力体制は、依然強固に保つことができている。

(4) 働き方改革の推進

学校評価（教職員）項目「教職員が一丸となって業務・事務効率改善に取り組んでいる」において、「非常に良い」「概ねよい」は97.6%（昨年度比+10P）であり、全教職員で高い意識をもって取り組めたことがわかる。また「年休を取りやすい体制や雰囲気がある」は、「非常に良い」「概ねよい」は93%（昨年度+1P）であったが、今年度は毎週月曜日のリフレッシュデーに加え、学年リフレッシュデー（毎月2回）やノー会議デー（土曜授業日の前日）も1年間継続実践し、時間外勤務（一人当たり/月）総時間数を、昨年度比30%減少させることができた。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・教育活動の充実については、感染症予防の徹底など新型コロナウイルスとうまく付き合いながら、さいたま市のギガスクール構想の一層の推進に努めるとともに、次年度以降は「STEAMS」の視点を取り入れ、子どもたちの未来を見据えた教育活動に向けての見直しを図り、さらに教育効果を高められるようにしていく。
- ・新型コロナウイルスに負けない「楽しく学べる場」を保護者には「安心して通わせられる場」を目指し、地域住民が「だいすき」な学校をつくるための改善と工夫を継続して実施していく。